

平成27年度決算に基づく浦幌町の健全化判断比率等の状況

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成27年度決算に基づく浦幌町の健全化判断比率等（町の家計を一定の基準に照らし、問題がないかを判断する比率）についてお知らせいたします。

		浦幌町の比率	早期健全化基準 イエローカード	財政再生基準 レッドカード
実質赤字比率		－%	15%	20%
連結実質赤字比率		－%	20%	40%
実質公債費比率		10.8%	25%	35%
将来負担比率		－%	350%	
		浦幌町の比率	経営健全化基準	
資金不足比率	公共下水道	－%	20%	
	個別排水処理	－%	20%	
	簡易水道	－%	20%	

◎実質赤字比率

赤字が発生していないため、比率は算定されず、基準をクリアしています。ちなみに実質黒字比率は5.48%となっています。

◎連結実質赤字比率

赤字が発生していないため、比率は算定されず、基準をクリアしています。ちなみに連結実質黒字比率は7.73%となっています。

◎実質公債費比率

基準は超えていません。昨年度より公債費（借金の返済）が減少したため、それに伴い比率も0.8%減少しました。

◎将来負担比率

比率は算定されませんでした。地方債現在高（町の借金残高）が減少していることと、基金残高（町の預金残高）が増加していることによるものです。昨年度は4.6%でした。

◎資金不足比率

いずれの会計も赤字が発生していないため、比率は算定されず、基準をクリアしています。

用語解説

- **実質赤字比率**

福祉、教育、まちづくりなどを行う地方公共団体の一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すもの

- **連結実質赤字比率**

全ての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての運営の深刻度を示すもの

- **実質公債費比率**

借入金の返済額及びこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの

- **将来負担比率**

地方公共団体の一般会計などの借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の程度を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すもの

- **資金不足比率**

公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すもの

- **早期健全化基準（イエローカード）**

家計が危ない状態と判断され、自主的な改善努力により財政の健全化を図らなければなりません。

- **財政再生基準（レッドカード）**

家計がどうにもならない状態と判断され、国などの関与による確実な再生を図らなければなりません。